

森づくり通信

No.48

2018年(平成30年) 6月 8日(金)発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



山椒

会員の皆様方には森づくり活動に汗を流され、ご活躍の事と思います。

今の季節は熱さに体が慣れておらず、真夏より5,6月は特に熱中症の患者が増加すると言われています。

こまめな水分補給と、作業を一旦やめて周りの自然の様子を観察するぐらいの余裕を持った作業がいいように思います。しかし、始めてしまうとなかなか止まらないのも事実です。…ご自愛ください。

平成30年度 金沢森づくりイベント情報(一般参加可能分)

日程	イベント内容 (予定)	場所	問合せ先
8月2・3日(木・金)	こどもあおぞらウッドアート 金沢産の木材で木工作	金沢市民芸術村	金沢市森林再生課 076-220-2217
9月下旬	「金沢テクノの森づくり2018秋」 森林整備活動	金沢テクノパーク	金沢市森林再生課 076-220-2217
10月13日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備とレクリエーション	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
10月下旬	金沢北の森づくり 森林整備とネイチャーゲーム	金沢市堅田城址	金沢市森林再生課 076-220-2217
11月3・4日(土・日)	角間里山まつり 里山イベント	金沢大学 角間の里	角間里山みらい 076-229-1131

4/27・5/6(金・日) 小將町中学校森づくり出前講座



全校行事の学校林整備作業に先立ち、4/27は1年生70名を対象に森の恩恵と私たちの生活との関わりなどの出前講座を行いました。

1時限の授業でかなりの量の説明をしたので難しかったかなー？

5/6は卯辰山の学校林まで歩き、全校生徒と保護者合わせて249名が参加し、開会後クヌギとコナラの苗をそれぞれ40本づつ植栽しました。例年は草刈りと植栽だけの行事でしたが、今回からは3年生15名に事前に伐倒しておいた枯れた木などを、適当な長さに切って集積する森の整備を行ってもらい、ヤブをスッキリさせました。



森づくり活動 実施報告



元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

5月12日(土) きんしんの森づくり

きんしん忠田理事長から、今年は金沢信用金庫創立110年ときんしん環境財団設立10年の節目の年になり、さらに地域の皆さんと共に歩んで行きたいとの挨拶後、金沢市森林再生課課長、地元町会長の挨拶で開会しました。



職員と地元、一般参加者170名が参加し、5か所に分かれ森づくり活動を行いました。今年は積雪が多く、植栽木の枝折れ、幹折れの処理と下草刈り。昔、砦だった峰が城址への散策路や階段は、現地の木を利用して作るかなり高度な作業ですが立派な道が途中まで出来上がりました。親子チームはシイタケの植菌と竹を伐り倒し無煙炭化装置で竹炭を作り、脱臭・除湿剤として、シイタケの原木も希望者に持ち帰ってもらいました。焼きタケノコもおいしかった！



5月26日(土) コマツの森づくり

コマツ金沢工場社員と家族、栗崎町会、パークゴルフ会員の皆さん90名が参加し、市森林再生課課長、コマツ金沢工場副工場長、栗崎町会会長、下沢市議の挨拶で、栗崎やすらぎの林のクロマツ植栽地周辺の整備を行いました。



平成22年度から海岸林造成の為、植栽してきた抵抗性クロマツも2.5m以上に成長し、林内も枝が重なり入れない状況になってきたので下枝払いの作業を行いました。植栽地周辺の林もヤブになってきており、適度に木の配置や種類を考え伐採・整備を行い、見通しが利きスッキリした林になりました。



植栽したての頃に、風や砂から苗を守るために取り付けした静砂垣も役目を終え、壊れてきたのでペンチやノコギリで取り外し集積しました。

5月27日(日) アルプの森づくり



アルプ薬局社員と家族、金沢大学の薬学系の学生85名が金大角間キャンパス内のアジチ谷において里山整備活動を行いました。

アルプでは金大から指導を受け漢方薬になるシャクヤクを栽培しており、今回は畑の雑草防除と肥料施肥の作業を中心に行いました。

親子の参加家族は、秋の収穫を楽しみにサツマイモの苗を植え、シャクヤクの花摘みも行い参加者に配りました。



森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

4月17日（火）内川小学校出前講座

内川小学校3年生6名を対象にシイタケとナメコの植菌を行いました。

内川小学校では自然豊かな学校環境を生かし、自然に親しむ活動をすすめており、今回は森の木を利用しシイタケとナメコの植菌を行い、収穫し食べる事で里山の利用の仕方を学んでもらいます。

実際に植菌ドリルで原木に穴をあけ、種駒を入れてから仮伏せまで行き、枕木にする竹も利用して食器に利用出来る事も学びました。



5月9日（火）友情の丘 森づくり

金沢市校下婦人会連合会の会員の皆さん35名が、医王の里の植樹を行った友情の森に集合し、森の整備活動を行いました。

今年の冬の医王の里では2mを上回る積雪があったとの事で、植栽木や自然に生えたマツの木も全て枝折れや芯折れしており、作業としては折損木の整備、クズ切り、草刈りと活動場所の前面道路の側溝の泥上げに汗を流してもらいました。活動後の会議で医王の里で採ったクロモジ茶を試飲して頂きましたが、いかがだったでしょう？



5月5日（土・祝）キゴ山山開きイベント

キゴ山の豊かな自然とその魅力を再発見してもらい、里山・宇宙教育の拠点をPRするとともにキゴ山の活性化を図るイベントと言う事で、プラネタリウム無料開放、キゴ山トレッキング、ターザンロープ体験などの催しものを盛り沢山用意し、約1300人の来場者がそれぞれ自然体験を満喫しました。担当したネイチャーゲームでは、森に入り見つけてほしい課題を探し出し、自然に自然観察が出来るフィールドビンゴを家族単位で行いました。問題を解きながら森を歩く事で家族の絆も深まったようです。



5月13日（日）ダンロップの森づくり

ダンロップタイヤ北陸(株)の社員、家族、関連会社社員96名が参加し、整備したカラマツ林の植栽可能な所に各営業所単位で10本の植樹を行いました。

樹種は秋に楽しめる木を選び、キンモクセイ、サルスベリ、ナナカマド各3本と天皇陛下直播のアテの木を1本植えました。

その他、林内の整備や草刈り等を予定していましたがあいにくの雨で安全を期し、植栽とネームプレートを作り取り付ける活動にしました。



森づくりの話 ⑳

森づくりに関わりがあれば木の名前を知っていると活動に幅が出来たり、山歩きもとても楽しいものになりますが、私の場合はなかなか覚えられないうえに忘れるので始末が悪いのです。

木の覚え方を他の専門家に聞いたことがあります、一番効果的なのはよく知っている人と森や山に行き、実際に教えてもらう事だそうです。しかしながら身の回りにそういう人は居ないし、居たとしても付き合ってもらうのも気が引けます。

次は自分で調べるしかない、植物図鑑が必要になります。図鑑はいろいろありますが、基本的に葉っぱから検索できる図鑑が良いようです。森や山で気になったら図鑑で調べるのですが、先の専門家が言うには、あるフィールドがあれば10m四方でも良いので区画を決め、1年中観察を繰り返し覚えると割と覚えられ、100種類程覚えればこの地域に生えている樹木に関しては解説が出来るとの事です。

図鑑を準備しても図鑑の使い方がわからなければ、目指す樹木にたどり着けないので何かいい方法が無いものかと思っていた所、図鑑の検索の仕方を指導してくれる講座が関東の方であると申し込みました。残念なことによんどころ無い用事が出来てキャンセルしましたが、またあったら申し込みたいと思っています。いずれにしても図鑑を片手に地道に努力が「急がばまわれ」なのかもしれません。

金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://www.kanazawa-forest.com/supportbank/>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどもできるサイトとなっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。ぜひ1度ご覧ください。



編集後記

「花粉症」

花粉症と言えばくしゃみ、鼻水、鼻づまり、さらには目のかゆみなどの症状で、アレルギーが酷い人は冬以外ほぼ1年中と言うから、マスク姿を見ると気の毒に思います。

昔はそんな病気は聞いたことが無く、原因は車の排ガスや工場からの煙などが花粉やダストと結合して引き起こしているのではないかと考えていました。

ところで先日テレビを見ていたら、原因の花粉が少ない都会の患者は少ないはずが、地方より多いとの事でした。やはり空気が良くないのだな—と見ていたら、要因の1つは土が少ない事でした。都会は土(緑)が少なく花粉が土に吸着されず舞い上がり、いつまでも漂っているからだそうです。

環境の中で緑と土は切っても切り離せず水とも同様です。こんな因果は今まで考えてみた事もなく、自然環境は絶妙なバランスを保っていると改めて感じました。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

